

## 山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



市川三郷町立上野小学校

教諭 林 真帆

令和3年度採用

福島県出身

### ◆学校の先生になった理由

子どもたちの学習や成長に携わりたいという思いを持っていました。私は兄弟の多い家庭で育ちました。小学校高学年の頃から高校生まで妹や弟と一緒に勉強をする中で、教えることの楽しさや一緒に考えて答えを導き出せたときの喜びを味わいました。その経験から、勉強を教える仕事に魅力を感じていました。また、祖父が教職に就いていたので、長期休み中になると毎年勉強を教わっていました。そんな祖父は地域の子どもたちに慕われていたようです。祖父のような先生になりたいという気持ちがいつの間にか芽生え、その気持ちが強まり、小学校の先生を目指すようになりました。

### ◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

子どもたちの言動に多くのことを気付かされています。そのことが、新たな側面で物事を捉えられるきっかけにもなっています。子どもならではの素朴で素直な気付きに出会えることは先生という仕事の魅力の一つだと思います。日々学級の子どもたちと過ごす中で、昨日まではできなかったのに今日はできたという達成感を得られる瞬間を見ると、大きな喜びを感じます。

また、時間をかけて準備を行った授業の中で「分かった」と言ってもらえる瞬間もあります。1年を終えて子どもたちからメッセージをもらった時には、日々の関わりの中では気付かなかった子どもの成長が感じられます。そのようなときは他には代えがたい喜びがあり、先生としてのやりがいを感じる瞬間です。

### ◆学校の先生として心がけていること

日々の授業を組み立てることに努力を惜しまないようにしています。子どもたちのことを一番に考え、一人ひとりに最適な学びの機会を設けられるように授業を工夫しています。学習の定着がそれぞれ違う子どもたちが学びあう中で、どのような教材を提示したらよいか、どのよ

うな言葉を使って発問するかなどを授業準備で考え、実践しています。準備をしている時に思い描いていた展開にならないことがほとんどですが、その時の反省や子どもたちの反応などを振り返り、より良い方法を模索することで、一人ひとりの学習を深められるように心がけています。

### ◆山梨県を選んだ理由

学校の先生になるという夢を実現するために山梨県の大学を受験したことで、山梨県との縁が生まれました。就職の際には地元である福島県に戻るか迷いました。しかし、「大学で出会った友人たちとともに頑張りたい。」との思いから山梨県を選びました。出会った人とのつながりを強く感じられる山梨県のすばらしさも山梨県を選んだ大きな理由です。

また、学校の先生として、自分の強みを生かせる場所が山梨県だと思っています。生まれ育った福島県で経験してきたことを先生という職業でどのように生かせるのか、とても悩みました。しかし、環境の違いや文化の違いを山梨県と比較しながら教えられることや、小学校6年生の時に経験した東日本大震災の経験を伝えられることは、自分にしかない強みだと信じ、山梨県で教員をしています。実際に、全校児童の前で震災の経験を話す機会もあり、私にとっても貴重な経験をさせていただけたと思っています。



### ◆私が目指す学校の先生像

教育実習で、子どもたちとコミュニケーションを取りながらテキパキと授業をする先生にあこがれました。私はまだ経験が少なく、技術が不足しているので、子どもたちと一緒に成長する先生が今の理想像です。しかし、将来的には、実習先で出会った先生のような指導ができるようになりたいと思っています。コミュニケーションを取ることで子どもたちが笑顔になったり、学校に来ることが楽しみになったりする機会を増やしていきたいです。また、工夫を凝らした授業をすることで子どもたちが多くの発見を得て、学ぶことが楽しいと思える経験をたくさんプレゼントできる先生を目指しています。



## ◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

教職について1年半、私が先生という職業をこれからも続けていこうと思えるのは同じ職場で相談に乗ってくださる先生方の存在があるからです。そして、何よりも子どもたちの存在が大きいからです。忙しく大変な毎日の中でも、ふとした時に子どもたちの成長を感じられる瞬間があります。悩みは尽きませんが、子どもたちの成長を感じられる瞬間が見られることを楽しみに頑張っています。是非、言葉にならないほどの魅力がたくさんつまった学校の先生という職業を目指して頑張ってください。

## ◆わたしの学校（職場）の雰囲気

小さなことでも、悩んだり迷ったりしたらすぐに相談できる環境にあります。授業のことや子どもたちとの関わりの中でいくつもの悩みが生まれますが、寄り添い、親身になって話を聞いて、解決できるようにいくつものヒントを出してくださいます。密にコミュニケーションを取り合うことで、安心して日々の指導に入ることができています。学習指導や生活指導の相談の他に、プライベートの話も気軽にさせていただける、温かい雰囲気の職場だと感じています。

## ◆退勤後や休日の過ごし方

退勤後は、湯船につかることを楽しみの一つにしてリラックスできる時間をつくっています。すきま時間を見つけると、スマホでクイズを楽しみます。

休日は、趣味の時間に充てることが多いです。アニメや動画を観たり読書をしたりしてゆっくり過ごす日もあれば、友人と買い物を楽しむ日もあります。長期休みには実家に帰り、家族で出かけたりのんびりと過ごしたりしています。

## ◆山梨県のよいところ

山梨県に来て甲州弁に出会ったことで、言葉の面白さや魅力に気付くことができました。子どもたちの前に立つ際に、福島という言葉のなまりがあることを不安に感じていました。しかし、山梨で言葉のもつ良さにふれてから、自分の言葉のなまりが少し好きになることができました。山梨県の良さとして1番強く感じるのは、人とのつながりを大切にしていることです。子どもたちを見ていると友だちを大切にしている気持ちを一人ひとりが持っていると感じます。先生方や友人と関わると、いつも人のためにと考えて行動していると感じ、その温かさに県外出身の私は何度も救われました。この先、県内のどの学校に行ったとしても出会った人たちとの縁が切れてしまうことはないだろう、そんなふうに思えて、県外出身の私には大きな安心感になっています。



## ◆林真帆先生の1日

内容	解説
出勤	6時30分に起床します。 学校に着いたら、今日の授業の最終確認を済ませます。
朝活動 朝の会	あいさつをしながら教室へ行きます。朝活動ではプリント学習やタブレットパソコンを利用した学習をしています。週1回はレクもしています。 朝の会では健康観察時に児童の表情を注意深く見るようにしています。
授業	特に力を入れている授業は算数です。どのように問題提示をしたら意欲的に取り組んでもらえるか、目当ての達成につながるのかを意識しています。休み時間には宿題チェックや一息つく時間をつくっています。
給食指導 昼休み	配膳の指導や着席の声掛けをします。特に意識していることとして、感謝の気持ちを持って食事ができるように、挨拶の指導をしています。
清掃活動	はじめの会で自分の役割を確認させ、一緒に清掃活動に取り組んでいます。終わりの会では掃除リーダーを中心に班ごとに反省を行い、子どもたちと振り返りをします。
授業	総合的な学習の時間での地域学習は、図書館と連携した資料準備やICT機器を用いた調べ学習の指導に力を入れています。町や県について知らないことが多いため、子どもたちと一緒に学ぶ時間を大切にしています。
帰りの会 下校指導	一日の生活を振り返る帰りの会。「今日のきりり」では友だちのいいところを発表して、認め合う声掛けをします。会の終わりには翌日のことを必ず確認しており、端的に分かりやすく話すことを心がけています。
放課後	同学年の先生方と授業の相談をしたり子どもたちの様子を共有したりして、授業の準備をし、翌日以降の指導につなげています。日によっては会議や研究会があります。日直の週には校舎内の戸締まりをしています。
退勤	翌日の授業の準備を再確認し、退勤します。その際には、身の回りの整とんや戸締まりの確認をしています。